

5月25日(水)
平成17年(2005年)
発行所
〒112-0006
東京都文京区小日向4-5-9
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京 03(5976)8891番
振替 00120-9-56573番
http://www.coatingmedia.com

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル

ヘッドライン

カチオンとアニオン共存に成功 世界初、ポリマー混合エマルジョン

大成ファインケミカル

大成ファインケミカル(本社・千葉県旭市、社長・徳倉眞治氏)は、アニオン系とカチオン系を共存させたポリマーコンプレックス・アクリルエマルジョン樹脂を世界で初めて製品化に成功した。溶剤系並みの高機能水性樹脂を開発したとして、4月下旬よりサンプル出荷を開始。アクリット「RKW

シリーズ」を製品名に市場展開を始めている。

従来、アニオン系樹脂とカチオン系樹脂は混合すると凝集するという相いれない関係にある。同社では独自の合成技術により疎水性アクリルをコア成分に、カチオン性ポリマーとアニオン性ポリマーのイオンコンプレックスにより凝集することなく安定化することに成功した。

これにより、中和剤である酸を使用しないため塗装ラインの錆の発生を抑える他、双方

の特性を持った強靱な塗膜が形成出来る。エマルジョン樹脂でありながら金属への塗装も可能にする機能を有する。樹脂サイズは50μmで、多孔質基材への浸透性にも優れる。

同社の稲生豊人専務は「水性化の気運が高まるなかにあって、他社にない付加価値のある樹脂が出来た。密着性が高いため、外装建材などの金属用途を皮切りに、プラスチック、フィルム、インクジェット受像層などの記録媒体や電材など用途展開を図っていきたい」と、市場拡大に期待を見せる。

同社は昨年4月、親会社である大成化工の樹脂事業部門を分社化して発足した。溶液中でのアクリルを中心とする樹脂重合技術では45年にわたる実績を持ち、オーダーメイドに対応したクイックレスポンスには定評がある。ちなみに水性化の対応として既に昨年から水性カチオン樹脂を上市。同社売上の25%を占めるまで勢いを伸ばしている。

問い合わせ ☎03-3691-3111

